

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	児童養護施設 山家学園
------	-------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成30年11月29日・30日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 庄内厚生館 児童養護施設 山家学園	種 別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 伊藤大海	定員（利用人数）35名
所在地：〒879-5406 由布市庄内町西長宝1783番地1	
TEL：097-582-0451	

④総評

◇評価の高い点

○【理念、基本方針が明文化され周知が図られている。】

法人理念は「共歩・共笑・共育」と掲げ、その理念に基づく職員が大切にしたい4項目の価値観を定めている。職員には、理念・方針・基本16則を記載した厚生館職員手帳を配布し、朝礼時の唱和や年1回施設長による理解度確認を実施している。子ども等への周知については、児童会や保護者面接時で分かりやすくしていることを確認した。地域には、本年度4部門13事業説明等収めた他では見受けられないパンフレットを作成し、地域等への周知を図っている。

○【職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。】

職員の就業状況や意向を把握については、キャリアパスシートの導入や産業医による職場巡回、個別面談を実施。職員の働きやすい環境整備については、前項目でも特筆事項で記載したが、経営企画室を誕生させ、社内報（LIFE）を発行。育休職員情報、年休取得めざそう10日の記事等掲載し業務の実行性を高める取組を開始したことや福利厚生委員会では12の事業所を横断し活動や若手職員を集めたアイドルグループ「SKK48」の活動も施設の魅力を高める取組となっている。

○【子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。】

子供の主体的行動を見守り、つまずきや失敗を自ら解決し、乗り越えられるよう状況を把握し、必要に応じて励ましたり助言したり、働きかけている。

◇改善を求められる点

○【養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。】
質の向上については、法人本部が毎年10月・4月に全事業所を対象に、共通のキャリアパスシートにより自己評価や外部機関による評価体制により質の向上に向けた取組を行っている。障がい部門はじめ複数の事業経営を行っていることもあり、社会的養護施設として特性を踏まえた養育・支援の評価項目等の追加検討を期待する。

○【職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。】
キャリアパスシートは3つの区分によって構成されている。この中の「C区分」については、職員の専門性と思われるが児童養護施設の特徴を加えた項目検討が可能であれば今後検討を望む。

○【子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。】
生活空間でのプライバシーの基本となる建物環境等含めて、現在進めている小舎制への早期実現を望む。

○【子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。】
被措置児童等虐待が疑われる事案が生じていることから、県の指導に従い、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなど、施設運営の改善を行い、再発防止に努めることを求めます。

○【居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。】
トイレや浴室に備品の傷み等の箇所や画鋲を使用しているの掲示があることから安全、安心について利用者目線やリスク管理面から点検を望む。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

公表を受け、より良いサービス提供の実践に努めてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）